

折に触れ 四字熟語

NO. 102 〔梅妻鶴子〕 ばいさい かくし

< 意味 > 気ままで風流な暮らしぶりのたとえ。また、世の煩わしさを避けて、風流に暮らす人の形容。

出典：『古今図書集成』に引く「詩話総亀^{しわそうき}」

語釈：「梅妻」は妻をめとらず梅を植えること。「鶴子」は子の代わりに鶴を飼うこと。

故事：宋の林逋^{りんぽ}は、世を避けて西湖に隠れ済んだが、妻をめとらず梅を植え、子をもうけず鶴を飼い、舟を湖に浮かべるといふ、孤高で清らかな生活をしてきた故事から。

一言：松竹梅シリーズ 梅

めでたい気分の松の内もとつくに過ぎ、もう2月11日号の掲載となりました。折しも住宅街を歩けば、ちらほらと梅の花が、その香りと一緒に私たちを楽しませてくれます。

参考文献：三省堂・新明解「四字熟語辞典」